

迎撃シミュレーション結果の要約

- ① ターミナルフェーズにおける**弾道ミサイル**の軌道は、再突入角を維持した**直線**になる。この結果、**私の欲する空域で迎撃**できる。
- ② **弾道ミサイル**は直線的な軌道を維持した状態で**減速**され、**最大減速度点**を経て減速度は減少する。・・・**迎撃点**は最大減速点（高度 15 km 付近）以降に設定。
- ③ **迎撃ミサイル**（PAC3）の配備位置：**弾道ミサイル**の弾道直下で**予想弾着点**に付近
- ④ **弾道ミサイル**の運動に関する**情報**を取り込み**迎撃ミサイル**にかかる**誘導加速度**の緩和を図る。
- ⑤ 予想弾着点等を算定するために**弾道ミサイル**に関する空力的なデータ（例えば弾道係数など）を集積する必要がある。